

平成29年度

名四国道事務所 事業概要

平成29年4月

国土交通省中部地方整備局
名四国道事務所

名四国道事務所の所管

名四国道事務所は、国道23号名豊道路、国道153号豊田西バイパス、豊田北バイパス、国道155号豊田南バイパス、国道247号西知多道路（東海ジャンクション）の整備を担当しています。

また、浜松三ヶ日・豊橋道路について、重要港湾・生産拠点と高速道路とのアクセス強化や静岡県・愛知県の連携強化の観点から、広域的な道路ネットワークとして求められる機能の検討を実施します。

事業内容

1. 国道23号

(1)名豊道路

国道23号名豊道路は、豊橋市と名古屋都市圏を結ぶ延長72.7kmのバイパスです。豊橋東バイパス・豊橋バイパス・蒲郡バイパス・岡崎バイパス・知立バイパスの5つのバイパスで構成され、これまでに全体の約87%にあたる延長63.6kmが開通しています。

また、開通区間のうち約49%（延長31.3km）が4車線で完成しています。

1)豊橋東バイパス：豊橋^{とよはしひがし}東IC～野依^{のより}IC間の関係機関協議

豊橋東IC～野依ICに至る延長9.2kmの道路で、これまでに全線を暫定2車線で開通しています。

平成29年度は、豊橋東IC～野依IC間において、関係機関協議を行います。

2)豊橋バイパス：野依^{のより}IC～大崎^{おおさき}IC間の調査設計

野依IC～豊川為当ICに至る延長17.6kmの道路で、これまでに全線を暫定2車線で開通し、大崎IC～前芝IC間の9.4kmは4車線で開通しています。

平成29年度は、野依IC～大崎IC間（延長4.0km）において、調査設計を行います。

3)蒲郡バイパス：豊川為当^{とよかわためとう}IC～蒲郡^{がまごおり}IC間の用地推進、工事推進

名豊道路のうち、唯一の未開通区間（豊川為当IC～蒲郡IC：延長9.1km）です。

平成29年度は、豊川為当IC～蒲郡IC間において、用地取得を推進するとともに、2本のトンネル（国坂トンネル、豊沢トンネル）工事や、為当地区の橋梁下部工事を推進します。

4)岡崎バイパス：幸田芦谷^{こうたあしのや}IC～西尾東^{にしおひがし}IC間の関係機関協議

幸田芦谷IC～安城西尾ICに至る延長14.6kmの道路で、これまでに全線を暫定2車線で開通し、西尾東IC～安城西尾IC間の5.5kmは完成4車線で開通しています。

平成29年度は、幸田芦谷IC～西尾東IC間（延長9.1km）において、関係機関協議を行います。

2. 国道153号

(1) 豊田西バイパス：名古屋市天白区天白町^{てんぱくちょう}～豊田市西新町^{にしんまち}の関係機関協議

名古屋市から豊田市に至る延長13.3kmの道路で、これまでに全線を暫定4車線で開通しています。
平成29年度は、名古屋市天白区天白町～豊田市西新町間延長12.3kmにおいて、関係機関協議を行います。

(2) 豊田北バイパス：豊田市逢妻町^{あいづまちょう}～平戸橋町^{ひらとばしちょう}の用地推進

豊田市平戸橋町^{ひらとばしちょう}～扶桑町^{ふそうちょう}の工事推進

豊田市逢妻町～勘八町に至る延長6.8kmの道路です。

平成29年度は、豊田市逢妻町～平戸橋町間（延長4.9km）において、用地取得を推進するとともに、豊田市平戸橋町～扶桑町間（延長0.8km）の矢作川渡河部において、平成31年度開通を目指し橋梁（矢作川橋（仮称））工事を推進します。

3. 国道155号

(1) 豊田南バイパス：豊田市東新町^{とうしんちょう}～逢妻町^{あいづまちょう}間の用地推進、工事推進

豊田市駒場町～逢妻町に至る延長12.9kmの道路で、これまでに全体の約71%にあたる延長9.2kmが開通しています。

平成29年度は、豊田市東新町～逢妻町間（延長3.7km）において、用地取得を推進するとともに、豊田市東新町地区の道路改良工事（U型擁壁工事）を推進します。

4. 国道247号

(1) 西知多道路（東海ジャンクション）：東海市新宝町^{しんぼうまち}～東海町^{とうかいまち}間の調査設計

伊勢湾岸自動車道と中部国際空港を結ぶ延長約20kmの地域高規格道路です。平成28年度に、東海JCT区間（延長2.0km：国）及び青海IC～常滑JCT区間（延長約4.0km：県）が新たに事業に着手しました。

平成29年度は東海市新宝町～東海町間において、調査設計を推進します。

※平成29年4月1日現在